

## 5.2 枚方地区（岡本町）における取組み

### 5.2.1 平成 25 年度 of 取組みと平成 26 年度 of 取組み計画

岡本町では、当該地区の景観に適した適応策として、「木桶による打ち水」を実施することとした。そのため、平成 25 年度には木桶並びに涼感を演出するための風鈴を導入した。また、水に親しみながら地域の方がコミュニケーションをはかれる井戸公園の整備を行った。



図 5.6 打ち水の実施（上）、整備した井戸公園（左）、風鈴による涼感演出（右）

平成 25 年度 of 取組みを通じて、街路沿いの駐車場からの熱を抑制する取組み（フェンスの緑化）を追加することとし、平成 26 年度は以下の項目に取組みすることとした。

- ①岡本町での日々の打ち水
- ②下井戸とその周辺の管理・利用
- ③フェンスの緑化の取組み

また、それぞれの取組みの実施時期、実施者等を以下のように取り決めた。

表 5.1 岡本町での平成 26 年度の取組計画（抜粋）

適応策	項目	実施時期	実施者	詳細
打ち水の 実施	住民への周知	6月	岡本町	回覧板、地域での会合を用いて周知を図る
	日常での打ち水の 実施	7月～9月	桶を配られた 人	毎日夕方に実施（ただし晴れの日のみ） 適切な打ち水量：街路 1㎡当たり 1 L
井戸公園 の管理	簡易清掃	毎月初め	岡本町	清掃箇所：公園
	故障時の対応は、専門業者に依頼する。その場合の費用は、原則として岡本町町内会が負担する。			
緑化フェ ンスの 育成管理	苗づくり、植え付 けなどの準備	4月・5月くら いから準備	枚方市、岡本町 (園芸クラブ)	
	植物への水やり	夏期	岡本町(園芸ク ラブ)	
	スケジュールと役割分担について、町内会・枚方市等による関係者会合で決める。			

## 5.2.2 適応策の効果を高めるための取組み

### 1) 水源確保のための追加的な取組み

水資源に配慮しつつ打ち水を実施するため、雨水タンクを7か所に設置し、個人井戸からの給水栓を2か所に設置した。また、井戸公園において幼児等が水遊びをする際にも衛生面で安心な上水道の敷設を行った。



図 5.7 雨水タンク（左）、個人井戸の給水栓（右）



## 2) 井戸公園の熱環境改善のための追加的な取組み

平成 25 年度に植栽したイロハモミジによる緑陰効果はすぐには期待することができないため、ポリエステル製のフラクタル日除けを設置した。小さな葉っぱを模したフラクタル日除けは放熱性能が高く、日除け自体が熱くなりにくいいため、日除けからの長波放射を抑制できる。テントの寸法は縦 300cm×横 300cm×高さ 236.5cm であった。



図 5.8 井戸公園のフラクタル日除け

## 3) フェンスの緑化

取組計画に従い、街道沿いの駐車場との境界にあるフェンスに、つる性植物による緑化を行った。ゴーヤ、ヘチマ、琉球アサガオの 3 種類の育成を行った。容量 11L の茶系のプランターに苗を 2 つずつ植え込み、ブロックにフックで固定した。フェンスの緑化の育成の実施スケジュールを表 5.2 に示す。

プランター並びに関連資材は、枚方市が用意した。



図 5.9 ゴーヤ (左)、琉球アサガオ (中)、ヘチマ (右)

表 5.2 取組スケジュール

時期	項目
4月22日	プランターの納品
5月14日	各種苗、プランターフック、紙製ネットの納品
5月30日	腐葉土の納品
6月12日	苗の植え込み
9月21日	フェンスの緑化の撤去

しかし、植物の生育状況が良好ではなく、フェンスの全面が緑で覆われたという状況にはならなかった。



図 5.10 フェンスの緑化の状況（9月2日撮影）

### 5.2.3 打ち水の実施

#### 1) 日常生活での打ち水

取組計画に従い、右図に示す案内を回覧板で住民に周知し、打ち水を実施した。日常生活での打ち水は7月13日の五六市から9月14日の五六市までの2か月間を実施期間とした。

以下に、岡本町町内で10月に実施した打ち水等に関するアンケート結果を示す。

アンケート回答数が少なく、今後、改善する必要があるが、打ち水をほぼ毎日実施したと答えたのは約3割、週に1回以上と答えたのは8割以上と高い実施率が確認された。しかし、雨水タンク等の利用率は低く、町内での周知が必要と考えられた。

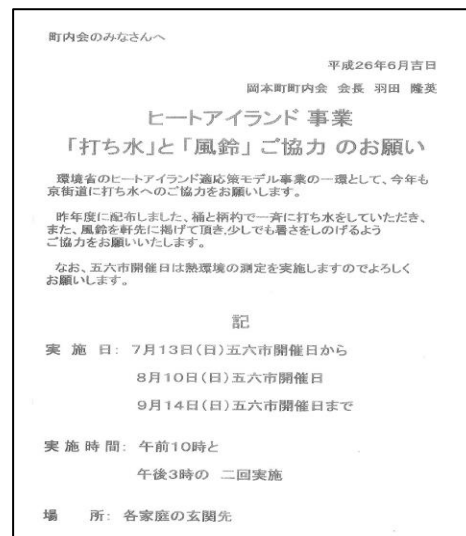


図 5.11 町内での打ち水の実施期間

①アンケート対象者

岡本町のビオルネ（商業施設と住宅の集合体）を除く、住民約 60 名にアンケートを配布し、19 名から回答を得た。

アンケート回答者の属性は性別の偏りは小さく、年代別では 50～70 代が全体の 9 割を占めた。

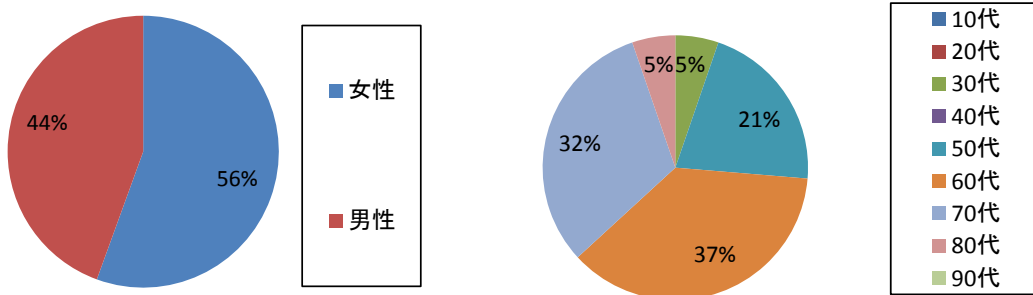


図 5.12 アンケート回答者の属性

②打ち水の実施状況

打ち水の実施状況については、週に 1 回以上との回答が 8 割以上であった。

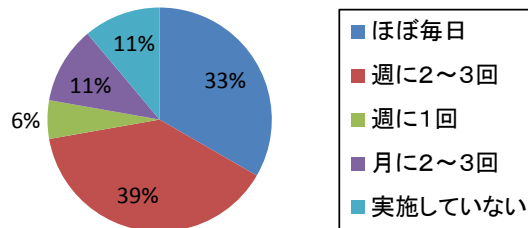


図 5.13 打ち水の実施状況

③雨水タンクの利用状況と周知状況

雨水タンクの利用は 1 割であった。また、雨水タンクの設置について知らない人も 3 割いた。

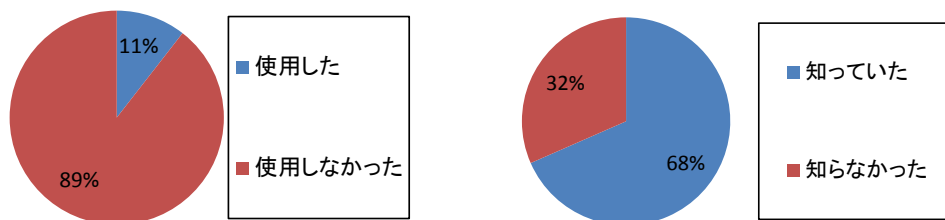


図 5.14 雨水タンクの利用状況（左）と認知状況（右）

#### ④風鈴の設置状況

屋外に設置している人が4割に留まり、室内に設置または設置していないが3割ずつであった。涼しげな景観形成を目的としているため、より多くの人々が屋外に設置する事が求められる。

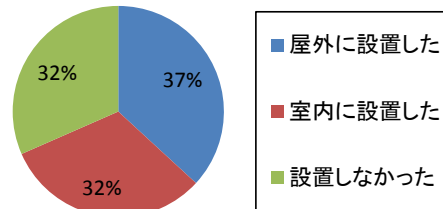


図 5.15 風鈴の設置状況

#### ⑤下井戸公園の利用状況

利用者は3割弱であった。利用者の利用用途は、休息が3人、子どもの遊び場が1人、水やりや清掃が1人であった。

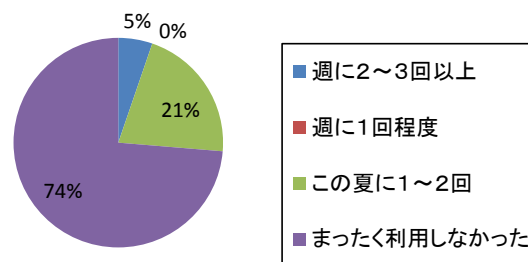


図 5.16 下井戸公園の利用状況

#### ⑥打ち水等を広げていくために必要な取組

打ち水や下井戸公園の利用を広げる為に必要な取組についてたずねたところ、今以上にきめ細かな声掛けを行うなど周知を徹底に関する意見が6人、雨水タンクや井戸公園の場所が示された地図の配布が2人、その他の意見としては、五六市の日以外に2回ほど一斉に散水をする、雨水タンクの利用方法を案内する、水遊びと合わせて学ぶイベントの実施、風鈴を増やすがあった。

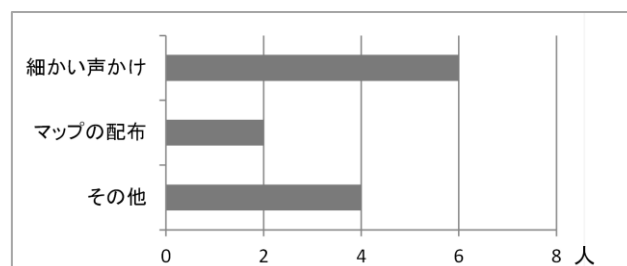


図 5.17 打ち水等を広げていくために必要な取組



## 2) 五六市での打ち水

五六市での打ち水は7月の1回と8月の2回、計3回計画された。そのうち計画通り打ち水が行えたのは7月13日の1回であり、8月と追加的に計画された9月の五六市も雨天により実施できなかった。今年度は打ち水をより岡本町の景観に合った取組にするために、「浴衣で打ち水」というイベントを実施した。浴衣での一斉打ち水の参加者には、街道沿いにある氷屋のかき氷券の特典を付けるなど、涼しさを強調するアイデアなどが実施された。



図 5.18 五六市での「浴衣で打ち水」(左)、特典のかき氷 (右)

以下に、8月24日の五六市の際に実施した来客者へのアンケート結果を示す。

打ち水については好意的な意見が多かったが、その理由は実際に涼しくなるからというより「涼感」の改善効果として意識されていることが分かった。

### ①アンケート対象者

アンケート対象者は、8月24日(日)の五六市の来客者71人であった。属性は女性が7割と多く、年代別では30～60代が9割であった。職業は会社員と主婦が多くそれぞれ3割強であった。

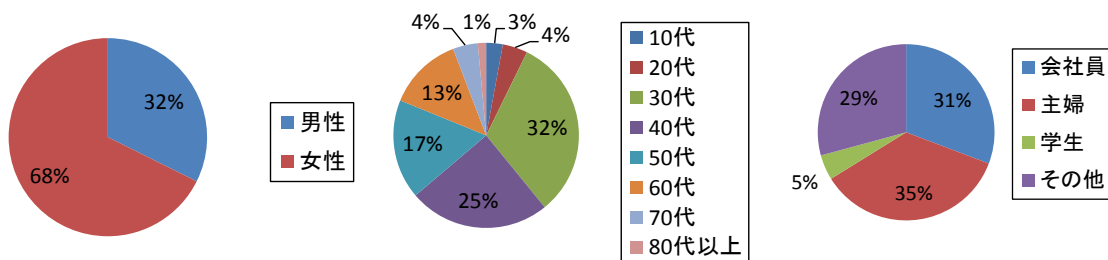


図 5.19 アンケート回答者の属性

### ②打ち水に対する歩行者の意識

打ち水を続けて欲しいかたずねたところ、「とてもそう思う」「そう思う」「ややそう思う」の合計で9割以上となり昨年の8割を上回った。

また、回答理由をたずねたところ、涼しくなるからという回答は25%であった。

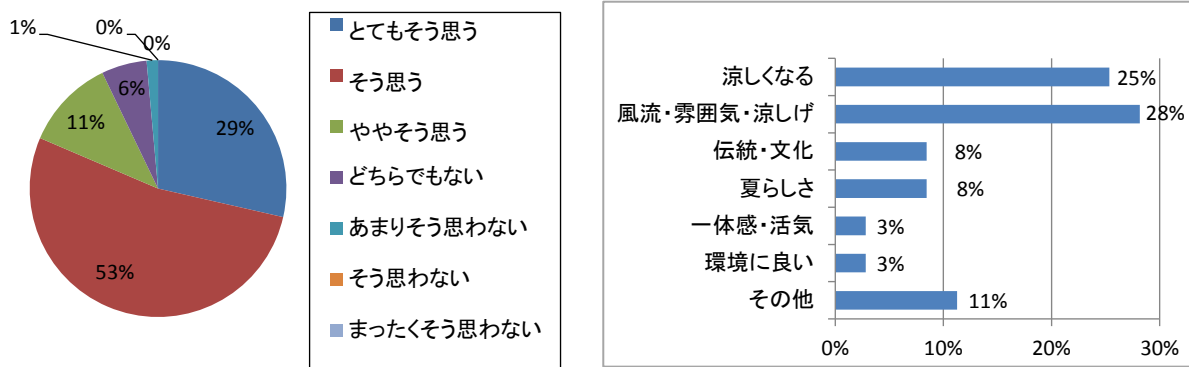


図 5.20 打ち水を続けて欲しいか (左) とその理由 (右)

### ③打ち水イベントに対する歩行者の意識

まちの景観と合せた打ち水イベントを今後も続けて欲しいかたずねたところ、「とてもそう思う」で27%、「そう思う」で54%、「ややそう思う」で14%と90%以上の方から続けてほしいという回答を得られた。

また、今後実施してほしいイベントをたずねたところ、水遊びとの組み合わせなど子どもが参加できるイベントという意見が複数あった。

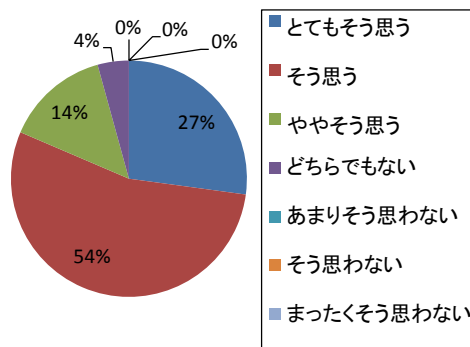


図 5.21 まちの景観と合せた打ち水イベントを今後も続けて欲しいか



## 5.2.4 熱環境改善効果の把握

### 1) 打ち水による熱環境改善効果

#### (1) 測定概要

測定期間：2014年7月13日～8月21日

測定項目：街路内の表面温度

測定場所：モデル地区内の測定地点を示す。屋上は打ち水が行われない対照地点として設定した。



図 5.22 打ち水の実施状況測定地点

#### (2) 打ち水による表面温度の低下頻度

##### ① 打ち水実施の判定方法

表面温度が $3^{\circ}\text{C}$ 以上低下し、低下後の30分間平均の表面温度が低下前と比べて $2^{\circ}\text{C}$ 以上低くなっている時を、打ち水実施による表面温度の低下と判断した。また、日射量の減少による表面温度の低下を除外するため、街路沿いの住宅の屋上の表面温度が急激に低下している場合は対象外とした。

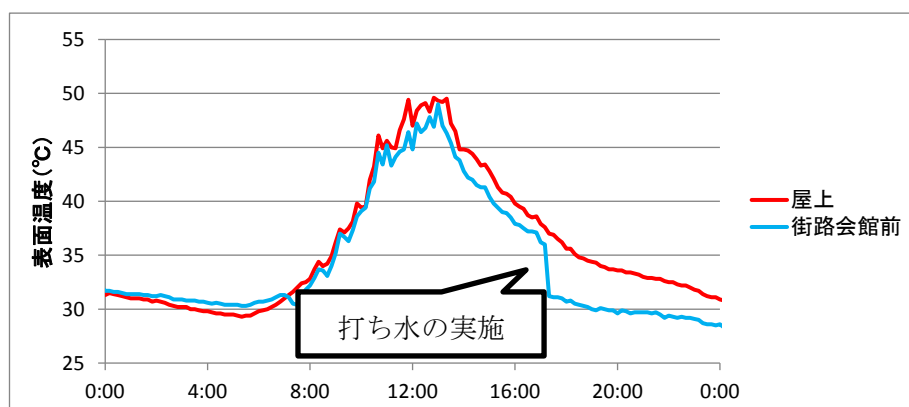


図 5.23 街路の表面温度の低下による打ち水実施の確認

## ②結果

打ち水は街路の表面温度が上昇した日に実施すると効果的である。測定期間の7月13日～8月21日の間では、会館前の街道の表面温度の最高値が40℃以上であった日は40日中、31日であった。31日間のうち会館前の測定地点では20回、街道入口の測定地点では4回の打ち水実施が確認された。会館前では1日に複数回打ち水を実施している日もあり、打ち水を実施した日は16日であった。街路入り口に比べて会館前の街路では頻繁に打ち水が実施されていた。打ち水の実施状況は場所によって異なる事が確認された。

表 5.3 打ち水実施による表面温度の低下頻度

測定日数	表面温度最高値 40℃以上日数	打ち水実施日の割合	
		会館前	街路入口
40日	31日	16日/31日=52%	4日/31日=13%

## (2) 打ち水による表面温度の低下量

### ①表面温度の低下量と持続時間

会館前で測定した打ち水による表面温度の低下効果は、20回の平均で5.7℃であり、打ち水の持続時間の平均は約50分であった。打ち水による気温の低下は確認されなかったが、打ち水により懸念される相対湿度の上昇は最大でも2%程度であった。

時刻別の表面温度の低下の関係を以下に示す。日中は表面温度の低下が大きく、夕方以降は小さいことが確認された。また、時刻別の打ち水の持続時間の関係を以下に示す。日中は持続時間が短く、夕方以降は持続時間が長くなっていた。

すなわち、日中は表面温度の低下効果が大きい効果が持続せず、一方、夕方以上の打ち水は表面温度の低下量は小さいが効果が持続しやすいと言える。

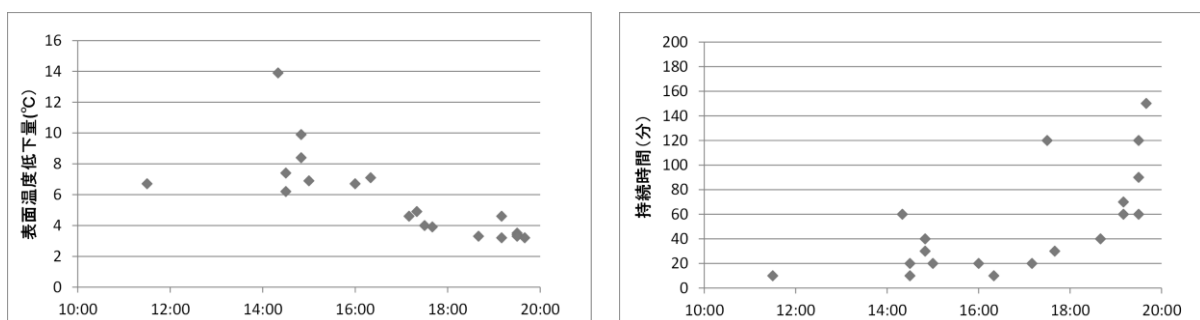


図 5.24 時刻別の表面温度の低下 (左) と打ち水の持続時間 (右)

### ②表面温度の低下の要因分析

日中に表面温度の低下量が大きかった要因を確認するため、打ち水前の表面温度、相対湿度のそれぞれと打ち水による表面温度の低下の関係を確認した。表面温度が高く、相対湿度が低いほど表面温度の低下量が大きくなる傾向が見られた。

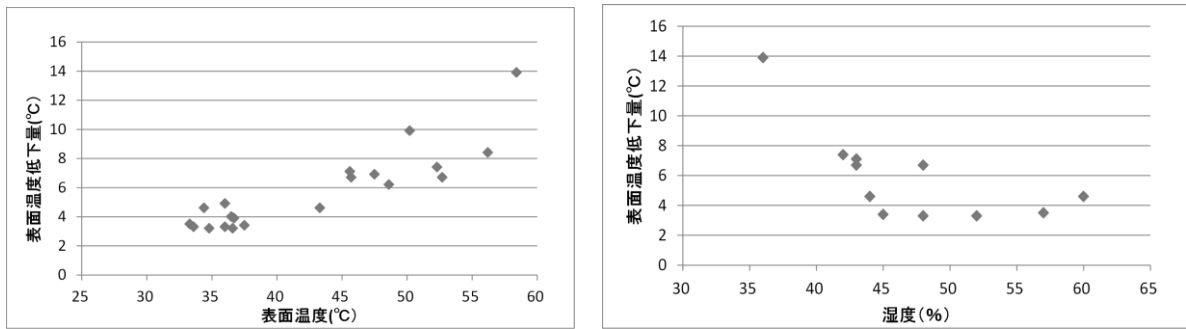


図 5.25 打ち水前の表面温度別の表面温度の低下（左）と相対湿度別の表面温度の低下（右）

## 2) フェンス緑化による熱環境改善効果

### (1) 測定概要

フェンスの緑化の温熱環境緩和効果を測定するために、緑化を実施している箇所と実施していない箇所の駐車場方向からの赤外放射等の温熱環境の測定を行った。

- ①測定日時：2014年9月2日 10:30~19:00
- ②測定項目長短波放射、気温、湿度、黒球、風速（2か所）、熱画像
- ③測定場所：モデル地区内の測定地点を示す。

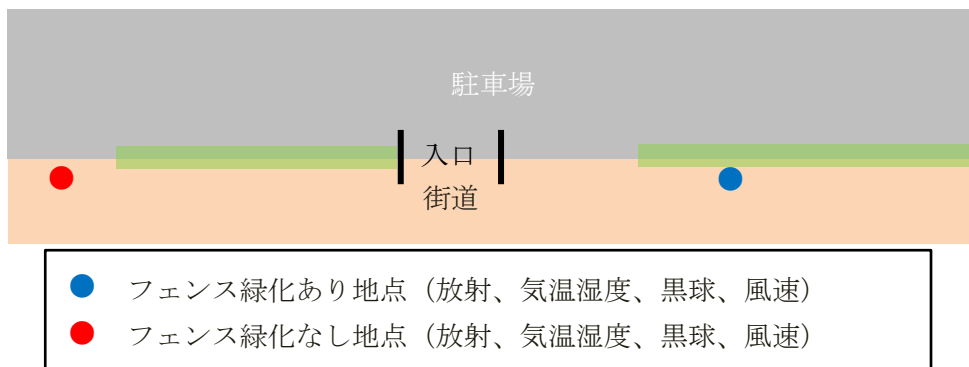


図 5.26 フェンスの緑化の有無の2地点による測定地点（9月2日）



図 5.27 フェンスの緑化の有無の2地点による測定写真（9月2日）

## (2) フェンスの緑化による駐車場方向からの赤外放射の低減効果

緑化されているフェンスとされていないフェンスの表面温度の差は平均で約6℃であった。2つのフェンスの表面温度の差から計算した赤外放射の差は、44W/m<sup>2</sup>であった。上述のように、今年度の取組みにおいては、植物の生育状況が良好ではなかったため、緑化したフェンスの表面温度でも平均すると気温より10℃高くなっていた。生育状況を改善することで、駐車場方面からの長波放射の抑制効果を高めることができると考えられる。

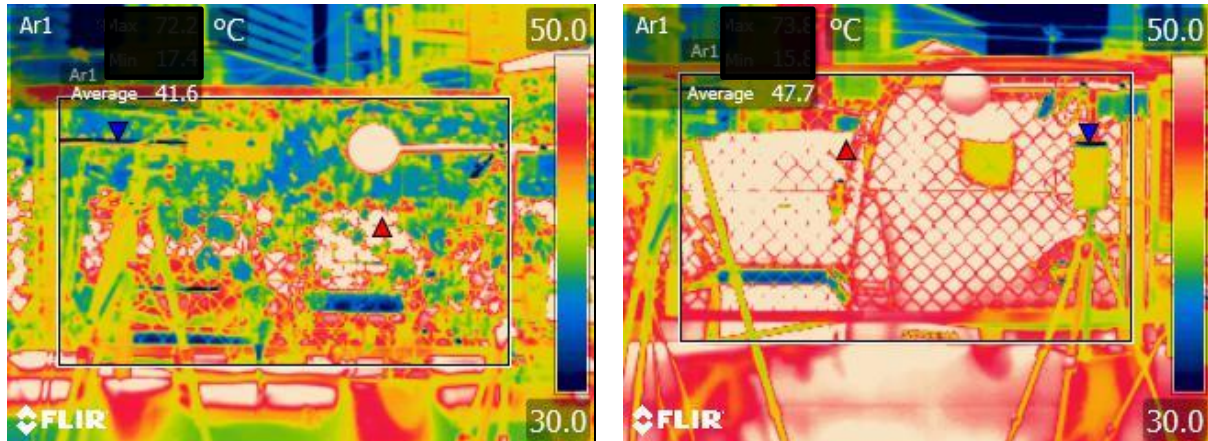


図 5.28 駐車場方向の表面温度（左：緑化あり、右：緑化なし（9月2日 12:30 気温 32℃））

## 3) 井戸公園の熱環境改善効果

### (1) 測定概要

井戸公園が周辺の街路と比べて熱環境的に良好なクールスポットとなっているか確認するために熱環境測定を実施した。

①測定日時：2014年9月2日 11:30~19:00

②測定項目：気温、湿度、黒球、風速（2か所）、熱画像

③測定場所：井戸公園の測定場所は、フラクタル日除けによって14時半ごろまでは日射が遮られていた。比較する街道の測定地点は、駐車場前のフェンスの緑化を行っていない場所とした。



図 5.29 井戸公園と街路の測定地点（9月2日）





図 5.30 井戸公園と街路の測定写真（9月2日）

(2) 熱環境改善効果

井戸公園と街路の測定地点の暑さ指数（WBGT）の1日の推移を図 5.31 に示す。日除けにより日射が遮られる 14 時半までの街路と公園の WBGT を比較すると、街路は厳重警戒の WBGT28℃以上になる時間帯が 41%であったが、公園内は 0%であった。14 時半以降は西日が差しこむが、WBGT28℃以上になる割合は低く、1 日を通しての厳しい熱環境は改善されていたものと考えられる。

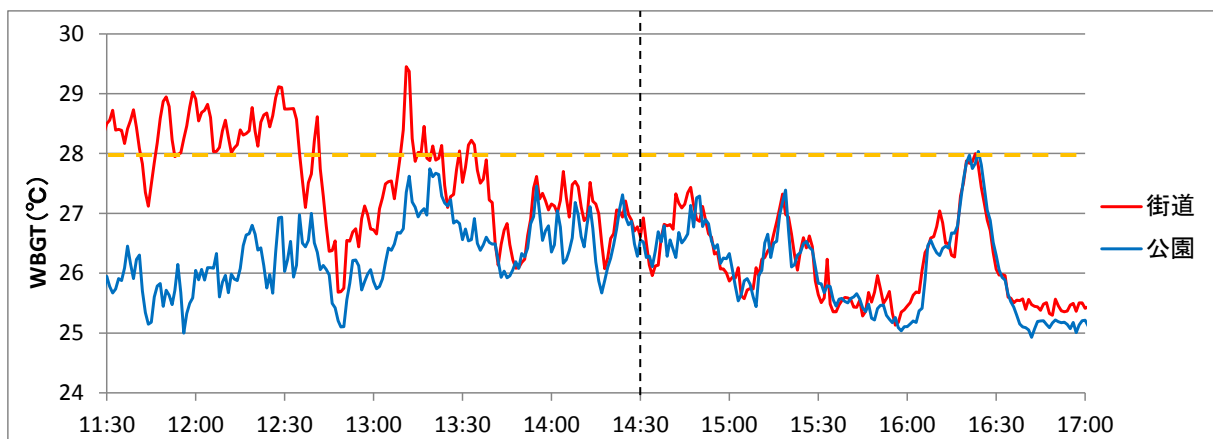


図 5.31 公園と街道の WBGT の 1 日の推移（9月2日）

表 5.4 時間帯別の熱中症厳重警戒（28℃以上）の時間割合（9月2日）

	街道	公園
11:30～14:30	41%	0%
14:31～17:00	0%	1%
合計	22%	0%

### (3) フラクタル日除けの性能

公園の日射遮蔽のために設置したフラクタル日除け（布製）は表面温度が上がりにくく、植物には及ばないものの日射が当たっている 12:30 の時点で気温プラス2℃程度の 33.9℃であった。フラクタル日除けの表面温度が皮膚温（35℃程度）よりも低いため、上部からの長波放射が抑制され、暑さを感じにくい状況になる。

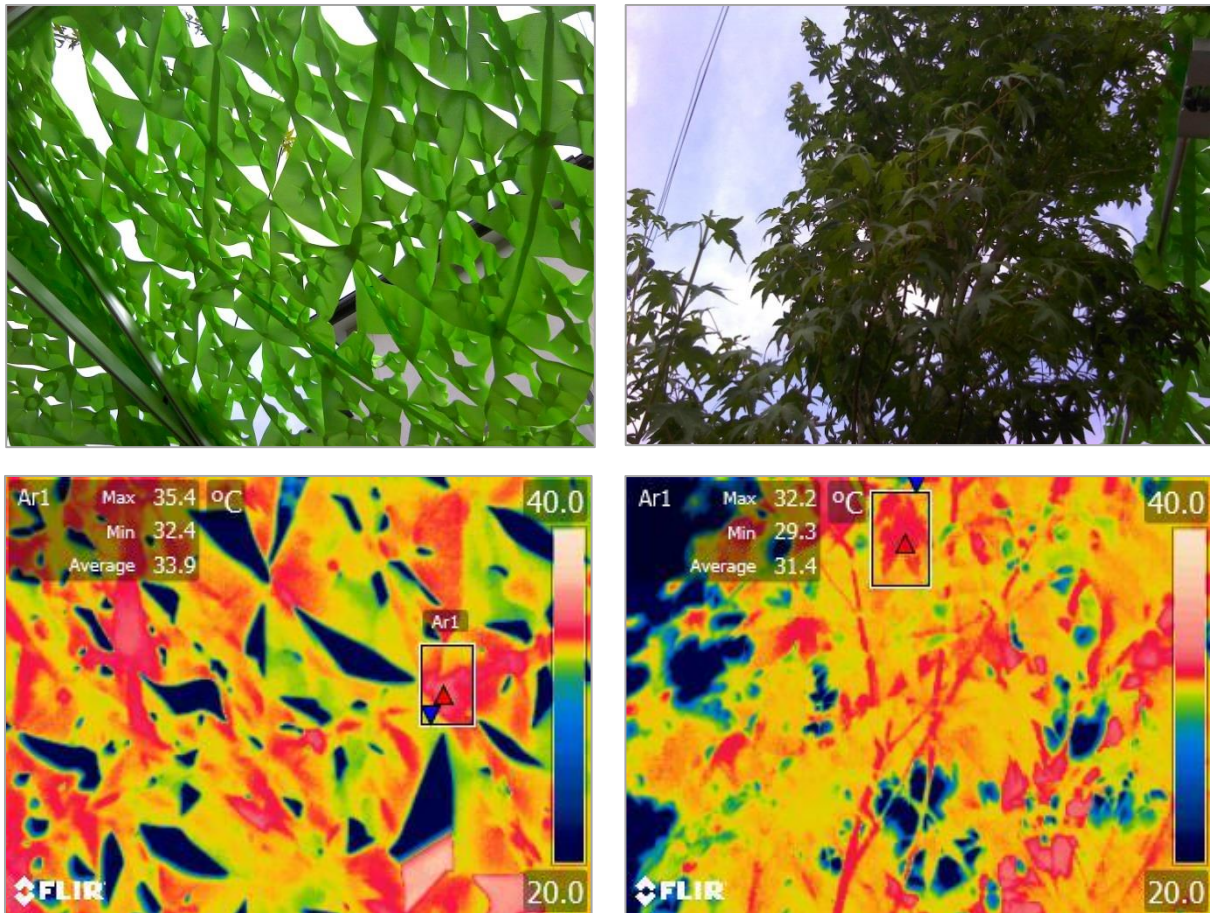


図 5.32 日除け等の表面温度 (左:フラクタル日除け、右:イロハモミジ (9月2日 12:30 気温32℃))

### 5.2.5 継続的に実施していくための取組み

地域内に打ち水を広めていくため、以下の3つの取組みを実施した。

- ①子どもを対象とした打ち水教室の実施
- ②枚方市による広報活動
- ③ふるさと絵図の作成

## 1) 打ち水教室の実施

町内会の活動は、打ち水のアンケート結果からも分かるように、50歳以上の比較的年齢の高い住民が主体となっており、近年、転入してきた若い世代等へ活動を広げていくことが課題となっている。打ち水を町内で広げていくにも同様の課題があり、子どもが打ち水に先導的に取り組むことで子育て世代への広がりが期待できる。

そこで、岡本町町内会の行事に合わせて、打ち水の効果についての説明や打ち水の実施を呼びかける打ち水教室を岡本町町内会と枚方市環境総務課の協力のもと実施した。

### (1) 実施概要

①実施日時：平成26年7月29日（火）17:00～20:00

②呼びかけ：町内の掲示板に案内を掲載するとともに町内の子ども会から参加呼びかけを行った。

③参加者：町内の小学生13人



図5.33 打ち水の効果をサーモカメラで確認

### (2) 実施内容

#### ①打ち水体験（17:00～18:00）

- ・打ち水の資料説明

大阪の街の近年の気温上昇、打ち水により涼しくなる理由、効果的な打ち水の実施方法について説明を行った。

- ・打ち水を体験

小学生に打ち水を体験してもらった。打ち水をした路面としていない路面の表面温度の違いをサーモカメラで確認し、打ち水の効果の視覚的な理解を促した。

#### ②打ち水勉強会（19:30～20:00）

- ・打ち水の資料説明

大阪の街の近年の気温上昇、打ち水により涼しくなる理由、効果的な打ち水の実施方法について説明を行った。

- ・打ち水の効果の説明

打ち水の効果を表す実験を室内で行った。路面の代わりに不織布に水を吹きかけ、気化熱による表面温度の低下をサーモカメラで確認した。

- ・エコライフつうしんぼを使った、夏休み中の打ち水実施の呼びかけ

枚方市環境総務課から市内の小学生に配布したエコつうしんぼの利用方法について説明を行った。また、エコつうしんぼを活用した夏休み中の打ち水の実施を呼びかけた。

- ・「クールダウンひらかた～みんなで打ち水大作戦2014～」への参加の呼びかけ

3日後の8月1日に行われる「クールダウンひらかた～みんなで打ち水大作戦2014～」への参加を呼び掛けた。





図 5.34 打ち水の効果の視覚化



図 5.35 枚方市からのエコライフつうしんぼの説明

## 2) 枚方市による広報活動

モデル地区で実施している適応策の取組みを内外に発信することを目的として、協議会のメンバーである枚方市環境総務課が広報活動を行った。掲載されたメディア名称と記載時期を以下の表に示した。

表 5.5 掲載メディア等

メディア名称	記事等掲載時期
広報ひらかた	7月号、8月号
枚方市	8月24日
マイライフ Web 版（地域メディア）	8月6日
枚方市ツイッター	8月22日
枚方市議会報	8月1日
環境新聞	7月23日

## 3) ふるさと絵図の作成

打ち水の地域の中での価値を高める事を目的としてふるさと絵図の作成を行った。

かつての岡本町の歴史を紐解く中で、打ち水など暑さ対策がかつて行われていたことを確認し視覚化できること、また、過去の文化と今実施している打ち水を繋げることで、地域に根差した文化の一つとしての打ち水の価値を再確認できることなどが特徴である。

平成 26 年度は、絵画講師の指導のもと岡本町関係者らが主体となり、下絵づくりを行った。



図 5.36 ふるさと絵図（下絵段階）



## 5.2.6 平成27年度に向けた取組計画の改訂

平成26年度は、平成25年度に検討・導入した適応策を、取組計画にしたがって実施した。その結果を踏まえて、住民主体による適応策をより持続性を高める取組にするために取組計画を改訂した。

### 1) 協議会等の開催

#### (1) 第4回協議会

日時： 平成26年5月16日 18時30分～20時30分  
場所： 岡本町会館（枚方市）  
参加者： 岡本町町内会：会長・副会長・五六市実行委員会委員・老人会会長含む9名、  
枚方市役所：環境総務課1名  
環境省大気生活環境室2名、近畿地方環境事務所1名  
環境情報科学センター2名、きんき環境館2名

第4回協議会のはじめに、環境省から適応策モデル事業についての説明と追加的な補足がされ、近隣自治体環境政策担当者向けに情報交換会を開催予定であることが紹介された。

また、平成26年度の適応策の取組みに向けた進捗状況の確認をおこなった。具体的には、日常生活・五六市での打ち水、フェンスの緑化、ふるさと絵図、広報計画がそれぞれ報告され、協議された。

平成26年度の追加的な適応策として、雨水タンク、家庭用井戸の街道への配管、下之町井戸公園の水道、移動式ミスト、下之町井戸公園の日射遮蔽物について、見積の結果を共有しながら協議・優先順位を決定した。また、平成26年度の測定計画について説明され、関係者への協力が求められた。

#### (2) 第5回協議会

日時： 平成26年11月13日（金） 18時30分～20時30分  
場所： 岡本町会館（枚方市）  
参加者： 岡本町町内会：会長・副会長・五六市実行委員会委員含む6名、  
枚方市役所：環境総務課2名  
（株）京阪園芸1名  
環境省大気生活環境室2名、近畿地方環境事務所1名  
環境情報科学センター2名、きんき環境館1名

第5回協議会では、平成26年度夏に実施した適応策等の報告をおこなった。適応策として日常生活・五六市での打ち水の実施、風鈴の設置、個人井戸・雨水タンクの利用、フェンスの緑化、井戸公園の維持管理・利用についてそれぞれの担当者・関係者が報告した。同様に、普及啓発・見える化の取組に関して、広報、ふるさと絵図、打ち水教室の報告を担当者・関係者が報告した。

また、平成26年度夏の適応策等の効果測定とアンケートの結果が報告された。打ち水、フェンスの緑化、井戸公園に関する暑熱環境調査・アンケート調査の報告がなされた。

最後に、平成 27 年度夏の適応策に向けた改善点等について協議した。具体的には打ち水、フェンスの緑化、広報、ふるさと絵図に関してそれぞれ検討した。



図 5.37 岡本町会館（枚方市）における第 5 回協議会の開催風景

### (3) 第 6 回協議会

日時： 平成 27 年 2 月 20 日 18 時 30 分～20 時  
 場所： 岡本町会館（枚方市）  
 参加者： 岡本町町内会：会長、副会長、書記、五六市実行委員 2 名、  
 枚方市役所：環境総務課 2 名  
 環境省大気生活環境室 2 名、近畿地方環境事務所 1 名  
 環境情報科学センター 3 名、きんき環境館 2 名

第 6 回協議会では、平成 26 年度の事業について実施内容の課題や今後の方向性を共有した。また、岡本町町内会で平成 27 年度に実施する取組計画の個別内容について協議した。

導入された適応策である打ち水、フェンスの緑化、井戸公園をより有効に活用するための課題と知恵を共有する必要性を確認した。知恵を共有するため、井戸周辺の整備を検討するために、協議会とは別に、事項ごとに検討する機会を設けることになった。

### (4) ヒアリング・関係者会合等

前述関係者の会合を適宜開催した。具体的には、各協議会前の協議内容についての検討、進行中・計画中の取組についての細かな内容確認等をおこなった。

#### ① アンケート・勉強会等

日時	対象	内容
平成 26 年 6 月 23 日(月) 岡本町会館	体操教室に参加された町内住民	打ち水ミニ講座 (教室前の情報提供)
平成 26 年 7 月 7 日(月) 岡本町会館	体操教室に参加された町内住民	打ち水ミニ講座 (教室前の情報提供)

平成 26 年 10 月下旬 岡本町	「暑さ対策についてのアンケート」実施	岡本町での暑さ対策についての意見 収集
-----------------------	--------------------	------------------------

## ②関係者会合

日時	参加者	内容
平成 26 年 4 月 8 日 (火) 12 : 30 - 15 : 30 岡本町会館	町内会長、五六市実行委、枚方市、 環境情報科学センター、きんき環 境館	・第 4 回協議会に向けた事前確認 ・議事次第、取組計画の改訂箇所 ・平成 26 年度における実施内容の優 先度の協議
平成 26 年 6 月 8 日 (火) 12 : 30 - 15 : 30 岡本町会館	町内会長、五六市実行委、枚方市、 環境情報科学センター、きんき環 境館	・夏期の実施前の段階での打ち合わせ
平成 26 年 11 月 4 日 (火) 10 : 00 - 12 : 00 岡本町会館	町内会長、五六市実行委、枚方市、 環境情報科学センター、きんき環 境館	・第 5 回協議会に向けた事前確認 ・議事次第、取組計画の改訂箇所 ・来年度以降の適応策の実施イメージ
平成 26 年 12 月 3 日 (水) 12 : 30 - 15 : 30 岡本町会館	五六市関係者、町内会長、枚方市、 環境情報科学センター、きんき環 境館	・五六市における打ち水などの適応策 促進に関する協議
平成 27 年 2 月 12 日 (木) 16 : 00 - 18 : 00 岡本町会館	町内会長、五六市実行委、枚方市、 環境情報科学センター、きんき環 境館	・第 6 回協議会に向けた事前確認

## 2) 課題と取組計画改訂のポイント

岡本町町内会での取組計画の策定に関する課題・取組計画改訂のポイントは次の点であった。平成 25 年度から平成 26 年度にかけて、協議会・関係者会合での決定内容はさまざまな機会を通じて、町内に伝えられた。また、聞き取り調査・アンケート調査などの機会を通じて、町内における動向は協議会を構成するメンバーに伝えられた。取組に関する見直しが適切に実施されることは、適応策を地域で継続的に実施する上で、重要な条件であり、町内での見直しの仕組みを維持できるように留意する必要がある。

平成 26 年度 of 取組計画にしたがって、町内における参加の呼びかけが実施された結果、打ち水への参加は促された。しかし、効果的な暑さ対策とするためには、より多くの地域住民らを巻き込むことが求められる。地域の生活・伝統行事と連動する習慣として、打ち水が組み込まれるためには、さまざまなアイデアを出して、実践・検証し、地道に実績を積み上げていくことが望まれる。

## 3) 策定された取組計画

策定された平成 27 年度取組計画は参考資料 4 とした。